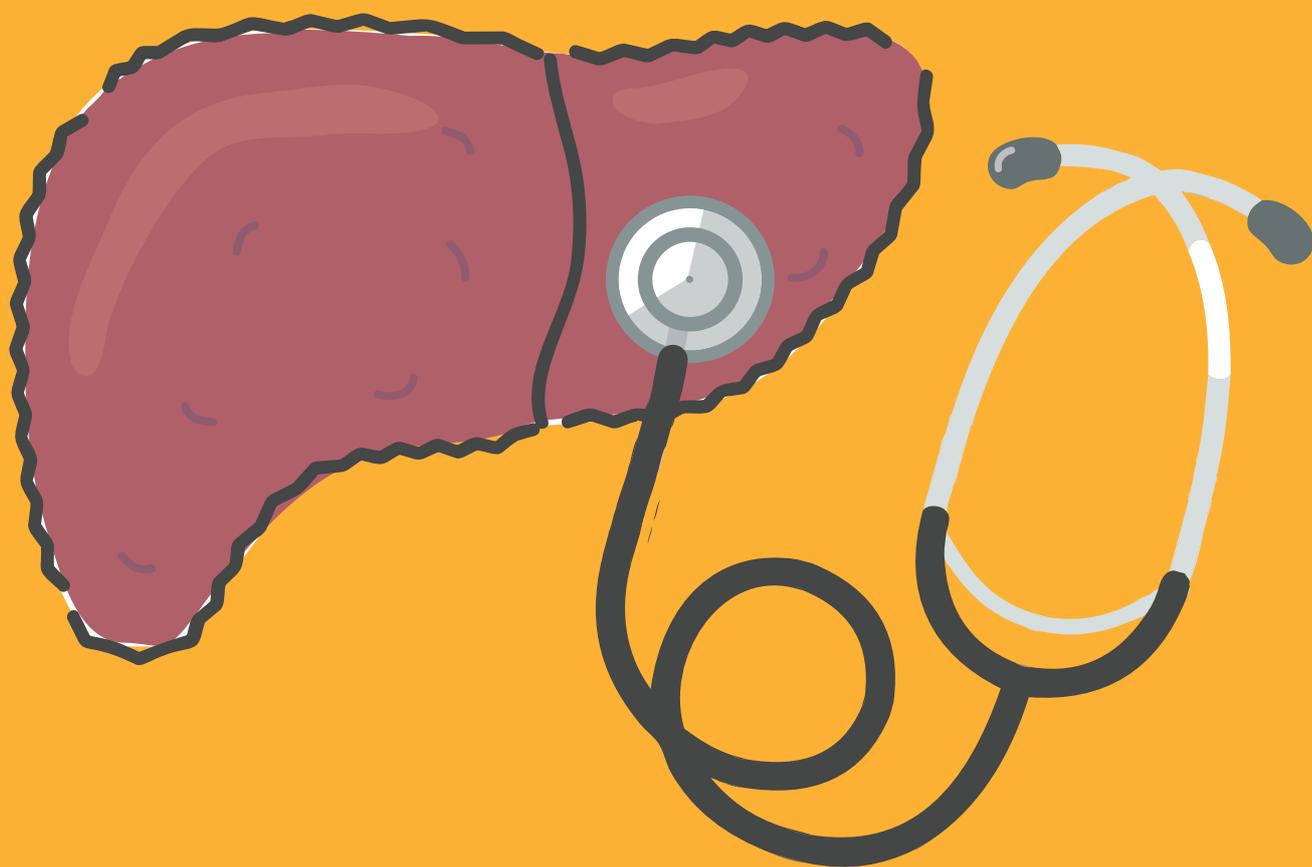


医療法人社団 三思会 くすの木病院

relation@

地域連携だより「りれーしょん」



肝臓病

～ 肝臓病のトレンド～



新年の御挨拶

あけましておめでとうございます。

皆様には平素よりくすの木病院をご愛顧頂きまして改めまして御礼申し上げます。

新病院建築を視野に、当院も新たな年に向け始動致しました。もとよりケアミックス型病院を実践している当院では、救急を始めとする一般病棟の他、慢性期の回復期リハビリ、地域包括、療養病棟と急性期から慢性期まで幅広い患者層を受け入れる病院として地域医療に貢献して参りました。コロナの収束後も特に冬季は呼吸器感染症が増加し、昨年12月はほぼ満床状態が続きました。本年も今までも増して感染症に強い病院を構築すべく、職員一同安全対策にも注力してまいります。

本年も御指導、御紹介の程よろしくお願い致しまして新年のご挨拶と致します。



病院長 高木 均

特集

肝臓病

～肝臓病のトレンド～

本号では、特集として当院のセールスポイントでもある肝臓病を取り上げました。かつて我が国の肝臓病最大の治療対象であったC型肝炎が直接作用型抗ウイルス薬（DAA）でコントロールされるようになり、患者層も様変わりしました。当院ではDAA導入開始から約10年でおよそ600人のC型肝炎患者に対してDAA治療を行いウイルス消失率は、再治療例はあるものの最終的にはほぼ100%に達しています。新たな感染の少ないC型肝炎は2030年台には稀な疾患になると予測されています。そしてB型肝炎もワクチン、抗ウイルス療法が進歩し、十分にコントロールできる時代となりました。一方で漸増しているのが脂肪性（アルコール性、代謝性）肝臓病です。中でも非アルコール性（NASH）、現在は代謝関連性（MASH）と呼称変更されつつある脂肪性肝炎はscreeningが確立されておらず、肝硬変などの進行状態で発見される例が多くむしろ難治性です。これら二つの肝臓病に併発するのが肝細胞癌であり、肝動脈化学塞栓

療法、ラジオ波焼灼療法、そして全身療法としてチロシンキナーゼ阻害薬を始めとするマルチキナーゼ阻害薬、免疫チェックポイント阻害薬＋血管新生阻害薬などの最新の治療も導入し、かつて10年生存率1割と言われた肝細胞癌の予後も著明に改善しつつあります。その他当院では成し得ませんが群大病院とタイアップし重粒子線治療、手術療法などを紹介して受ける患者も漸増し、治療後は当院でfollowを続けられるよう患者の利便性を第一に診療を行っています。その他E型肝炎、自己免疫性肝疾患、症候性肝嚢胞、先天性乃至は原因不明の肝疾患など肝生検も含めて当院で最終結論を出してお返しする症例も多く診させて頂いております。これからも“肝臓病ならくすの木病院”を継続して地域医療に貢献していきたいと考えております。本年も今一層の連携、ご指導、ご紹介の程よろしくお願い申し上げます。

Profile

病院長

高木 均 TAKAGI HITOSHI

1980年群馬大学卒業。2014年から現職。日本肝臓学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本内科学会認定内科医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本肝移植学会特別会員、群馬県病院協会理事、群馬大学大学院医学系研究科臨床教授

ウイルス性肝炎の現況

連携医療機関の先生方におかれましては平素より大変お世話になっております。私からは最近のウイルス性肝疾患診療について御紹介させていただきます。

C型慢性肝炎治療は直接作用型抗ウイルス製剤（DAA）による治療が主流となり10年が経過いたしました。現在の第一選択となっているソフォスブビル/ベルパタスビル（製剤名：エプクルーサ）やピブレンタスビル/グレカブレビル（製剤名：マヴィレット）は効果及び安全性が極めて高く、前者は肝予備能の低下した非代償性肝硬変を含めた患者さん、後者は透析例を含めた重度の腎障害の患者さんにも使用可能であり、ほぼ全例でウイルス排除を得る事が可能となっています。

またB型慢性肝炎に関しては、エンテカビル、テノホビルといった核酸アナログ製剤により血中ウイルス量を測定感度以下まで低下させる事が可能です。肝炎ウイルスの制御はほぼ全例で可能となりましたが肝硬変や肝細胞癌の病因はウイルスのみではなく、メタボリックシンドロームや飲酒等、他の因子も複雑に絡み合っており、ウイルス制御後も定期的な経過観察が必要

脂肪性肝疾患、最近の話題

最近では、アルコールをあまり飲まない人でもなる非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）が世界中で増えていきます。日本では、2024年には約50%の人がNAFLDにかかる予測されています。特に日本人は、インスリンの働きが弱く、特定の遺伝子の影響でNAFLDになりやすく、さらに肝硬変や肝臓癌（HCC）にもなりやすいとされています。

脂肪肝はメタボリックシンドロームと関係が深く、肥満や高血圧、糖尿病などの生活習慣病と一緒に起こることが多いです。メタボリックシンドロームとは、お腹に脂肪がたまりすぎることで、生活習慣病のリスクが高くなる状態を指します。このような背景から、最近では新しい病名として代謝関連性脂肪性肝疾患（MASLD）、軽度飲酒による脂肪性肝疾患（MetALD）、アルコール性肝障害（ALD）が提唱されています。

NAFLD、MASLD、MetALDは、肝臓癌や他の癌、そして心臓病のリスクを高める可能性があることがわかってきています。これは、体内で炎症を引き起こす物質や血液の凝固因子の増加が原因と考えられています。また、

です。実際に現在当院で治療を行う肝細胞癌は大半がウイルス排除後の症例という状況です。肝炎ウイルス治療成功で安心したあまり、定期的な画像検査（ウイルス制御後も少なくとも6か月に1回は必要です）を行っていない患者さんをお見掛けしましたら、一度は専門医受診のお声がけをしていただければ幸いです。

以上、ウイルス性肝炎診療について御紹介させていただきました。今後とも当院との引き続きの連携の程を宜しくお願い致します。

Profile



内科診療部 医長

高草木 智史 TAKAKUSAGI SATOSHI

2005年群馬大学卒業。2017年入職。日本内科学会総合内科専門医、日本肝臓学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医

これらの病気は無症状のことが多いため、症状が出る前に早期に検査を受けることが重要です。

これらの病気の予後や合併症の発症を予防するためには、肝線維化が重要です。最近では、非侵襲的な血液バイオマーカーや画像診断が普及しており、特に治療を早めに始めることが推奨される「リスクのあるNASH）」を早期に発見することが注目されています。当院では、県内でいち早く導入したフィブロスキャン（エコーと同時施行可能）を用いて、肝臓の脂肪沈着、線維化を評価し脂肪性肝炎の早期治療介入に役立てています。

また、日本肝臓学会からは「奈良宣言2023」が発表されており、ALTという血液検査の値が30以上の人は慢性肝疾患を疑い、特に生活習慣病を持つ人は専門医に相談することが推奨されています。このように、早期の診断と適切な治療が重要とされています。

Profile



内科診療部 部長

小曾根 隆 KOSONE TAKASHI

1993年新潟大学卒業。2007年入職。日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本肝臓学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医

地域連携室より新年のご挨拶

謹んで
新年のお慶びも
申し上げます



昨年のご厚情に賜り、深く感謝しております。

さて、くすの木病院地域連携室では、近隣の医療機関・介護施設等の皆さまから信頼される医療・介護連携の窓口であるよう日々業務に励んでおります。当院は、急性期・地域包括ケア・回復期リハビリテーション・療養の4つの機能を持つケア・ミックス型病院です。急性期から慢性期までの治療やリハビリテーション、療養を提供し、退院先の支援までを継続して行うことで、患者様に安心して入院していただけるよう対応しています。看護師

・社会福祉士・事務の多職種で協力し、地域の皆様から『くすの木病院』を紹介してもらって、また紹介して良かったと思っております。いただけるよう、心がけております。

まだまだ皆様のご要望に添えないこともあるかと存じますが、地域連携室では迅速な受入れ対応に努めてまいりたいと考えております。今後ともぜひ『くすの木病院』に患者様をご紹介くださるようお願い申し上げます。



地域連携室

地域連携室

主なお問い合わせ内容

- 緊急を要する患者様のご紹介
- 相談員宛のお問い合わせ
- 外来受診予約
- その他 地域連携室宛のご相談
- 転院のご紹介

お電話受付時間

平日（月～金曜日） 9：00～17：00
第1・3・5土曜 9：00～12：00

直通TEL：0274-37-2060

直通FAX：0274-22-2288

Eメール：relation@kusunoki-hp.com

わたしたちが対応いたします



地域連携室 係長
すかわ なみこ
須川 奈美子



地域連携室 看護師
きた ゆき
喜多 由貴



地域連携室 事務
さわいり さちこ
澤入 幸子



relation@
2025年新年号
2025年1月発行 Vol.9



医療法人社団三思会 くすの木病院 広報委員会
〒375-0024 群馬県藤岡市藤岡607-22
TEL：0274-24-3111（代表）
Homepage：www.kusunoki-hp.com